

# がまき 議会だより

第86号  
平成25年11月1日号



みんなで楽しく 上牧幼稚園運動会  
(第三小学校・芝生グラウンドにて)

## TOPICS

24年度決算	2・3
9月定例会	4・5
議決結果	6
一般質問	7～10
議会改革の取り組み	10
財政問題特別委員会報告	11
広報研修会	12

# 決算特別委員長報告

## 平成24年度の 各会計決算認定について

決算特別委員会は、委員6名（委員長 東充洋議員）は、9月13日、17日の2日間おこなわれました。決算特別委員会に付託された平成24年の一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、下水道事業特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計の7会計の決算について慎重審議の結果、全委員異議なく原案どおり認定されました。

決算特別委員会において行われた各委員からの積極的な質疑の中で、特徴的なものについて報告いたします。

委員から平成24年度決算の感想や監査委員からの意見について質疑がありました。

今中町長から「概ね、歳入歳出全般にわたって今までの厳し



い状況の中で一つ一つ積み上げてきたものは、しっかりと施策としてやれたという認識を持っている。中長期財政計画でも黒字化を示し、執行出来た」との感想を述べられた。

監査委員から町税等の財源収入の減少が予想される中、町民サービスの低下を招かないように」という意見について、「厳し

い状況下での町民サービスについては、予算が有るから無いからという事ではなく、町民の声にどう考え、どう動くか、どのように工夫すれば満足してもらえるかを考えられる職員の養成に努めたい」との答弁がありました。

町営住宅使用料と町営住宅駐車場使用料についての意見について、「不公平感があるので公平にしていいため努力する」との答弁がありました。

ペガサスホールの再開については「いろんな知恵を借りながら、しっかりと準備し、貸館を中心としたホール運営を平成26年度中に出来ればと考えている」との答弁がありました。

### しっかりと財源確保を

つづいて、一般会計決算において歳入では、町民税現年度分の平成24年度決算額11億5,465万円と平成23年度決算額と比較して3,000万円の増額の要因について質疑があり、回答は、「平成24年度において、町民税個人分で16歳未満の子ども

のいる親の所得を控除する年少扶養控除が廃止された」ことが影響しています。

他、町民税や固定資産税の徴収率や滞納繰越分の徴収率及び不納欠損についての原因、地方交付税、国庫補助金、県補助金、保育量の滞納繰越分の徴収など、町の財源確保についての質疑がおこなわれました。

### 公平な行政運営の実現

特に各委員から質疑があったのは、町営住宅使用料及び町営住宅駐車場使用料についてです。

内容は、平成24年度の町営住宅家賃、現年度調定額4,066万円に対し、現年度収入額2,708万円で徴収率66・6%、滞納繰越調定額1億172万円、滞納繰越収入済額116万円で徴収率1・1%です。

改良住宅においても滞納繰越額1,372万円で滞納繰越収入済額87万円、徴収率6・4%です。

平成24年度町営住宅駐車場使用料の現年度調定額141万円、現年度収入済額92万円で徴収率

平成24年度各会計別決算額

		歳入合計	歳出合計	平成25年度へ繰越す財源	実質収支額（黒字額）	
一般会計		77億873万円	73億9,454万円	5,637万円	2億5,782万円	
特別会計	国民健康保険	29億745万円	27億5,977万円		1億4,768万円	
	後期高齢者医療	2億3,627万円	2億3,317万円		310万円	
	住宅新築資金等貸付事業	1,282万円	1,251万円		31万円	
	下水道事業	5億6,201万円	5億6,042万円	48万円	111万円	
	介護保険	保険事業勘定	12億9,424万円	12億5,764万円		3,660万円
		介護サービス事業勘定	1,565万円	638万円		927万円
水道事業会計	収益的収入支出	4億7,608万円	4億3,938万円		3,670万円	
	資本的収入支出	1,101万円	2,276万円	588万円	▲ 1,763万円	

65%、滞納繰越額499万円に  
対し、滞納繰越収入済額3万円、  
徴収率0・78%という実績です。  
町営住宅及び町営住宅駐車場  
における管理運営は以上であり、  
「町条例に基づいて行われている  
のか」という質疑があり、「事務  
担当者レベルでは、対処できな  
いところまで来ており、早急に  
弁護士と再度相談する」との答  
弁がありました。

**町条例どおりの運営を求める**

「条例を制定している以上、  
守られて当然、町は滞納者に対  
して厳しく対処する必要があり、  
厳しい状況にあるとは想像でき  
るが、今の状況では不作為とし  
か言いようがない。今後は、全  
庁あげてこの問題に取り組むべ  
き」と強い指摘がありました。

**歳出における質疑**

平成24年度より土木費や教育  
費等の工事請負費や委託料が平  
成25年度へ繰り越された9億7、  
832万円についての進捗状況  
についての質疑が行われました。

**国民健康保険特別会計決算**

「保険給付費が平成24年度支  
出済額18億2、764万円、平  
成23年度支出済額16億3、35  
5万円と対比すると1億9、4  
08万円と増額になっており、  
原因として高度化医療の進歩で  
400万円を超える高額レセプ  
トが10件、最高675万円とい  
うレセプトがあり、病名は心臓  
病、がん、脳梗塞等であった」  
との答弁がありました。

監査委員から「医療費の負担  
軽減に努めるよう」指摘があり  
ました。

**水道事業会計決算**

「平成24年度の有収率は94・  
1%という実績で5・9%が漏  
水と考えられていたが、有効に  
利用されている消火用水などの  
無収水量が漏水に含まれている  
のが実態である」との答弁があ  
りました。

今後設置する消火栓については、  
「メーターを設置し使用水量がわ  
かるようにし、シビアな有収率  
を求める」との指摘がありまし  
た。

# 総務建設委員長報告

## ■平成25年度一般会計補正予算(第2回)

この補正予算は、歳入歳出2億9,884万円を増額し、予算総額を114億2,277万円とするものです。

**問** 職員の確保が不可欠であるが、町としてはどのように取り組むのか。この先10年間で100名近くが定年退職となるが、中途採用、再雇用を含めて補充する必要があるのでは…

**答** これまで職員数は類似団体に比べて多く、退職者の補充をしないでも来たが、その結果約200名の職員数となっている。今後は各課の状況を把握し、適切な人員を配置して行く。新規採用に加えて、再任用や民間経験者の採用も検討する。

**問** 保健衛生総務費、予防接種委託料1,025万円減額補正の内容について

**答** 子宮頸がん予防ワクチン接種後に副作用が起きたため、6

月14日付けで厚労省から積極的な勧奨を控えるようとの通知があった。本町でも積極的に接種をすすめないこととし、減額補正を行った。

**問** 財政調整基金、積立金2億4,651万円、基金残高9億3,355万円に関して、その評価と今後の財政運営について

**答** 24年度決算の実質収支黒字による積立の結果、財政調整基金残高が9億3,355万円となった。今回、減債基金5,000万円を増額計上したが、三セク債の償還に充てる方針である。今後各種の事業も考えられ、来年度には庁舎の耐震工事を予定している。そうした状況も考慮に入れながら、財政運営を行って行きたい。

採決の結果、全委員異議無く可決すべきものと決しました。

## ■上牧町税条例の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴い、①寄付金控除をNPO団体にも適用、②年金所得からの特別徴収の条件緩和が盛り込まれています。

## ■上牧町道路線の変更について

アピタ進入路の信号機設置について警察から指導があり、都市計画街路・桜ヶ丘新町線をアピタ敷地内へ55m延長し、延長部分の工事や維持管理はアピタの負担で行うものです。

## ■平成25年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1回)

## ■平成25年度下水道事業特別会計補正予算(第2回)

## ■独立行政法人都市再生機構は2014年4月の継続家賃値上げ中止、高家賃引き下げを求める意見書(案)

採決の結果、いずれも全委員異議無く可決すべきものと決しました。

## ■道州制導入に断固反対する意見書(案)

芳倉議員より3名の賛成議員と共に提案がありました。

審議の結果、堀内委員より「道州制の内容が未だ不明確であり、導入後の国のかたちも全く示されていない。議会として十分な議論を重ねる必要がある、また住民への説明と意見の反映が不可欠である。」との反対討論がありました。

東委員より「効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治と呼べるものではない。」との賛成討論がありました。

康村委員より「全国知事会の報告書では、望ましい姿として道州制と市町村の二層性を訴え、町村を中心とした地方分権をすすめるべきであるとしている。」との反対討論がありました。

起立採決の結果、賛成少数で、否決すべきものと決しました。

# 文教厚生委員長報告

## ■上牧町ささゆりルーム設置条例の制定

この条例は、10月開店のアピタ西大和店から、使用貸借により上牧町に提供されるルーム（床面積144・68㎡）で、その利用に当たつての条例です。事業目的は、子育て支援、地域交流、住民の健康増進で、使用方法は町が行う事業と町民活動への貸し出しの二通りです。町の事業は、つどいの広場、子育て相談、乳幼児健診、成人健康増進、人権・行政相談等です。貸し出しは、地域の福祉・交流活動を行っている個人・団体に行われます。

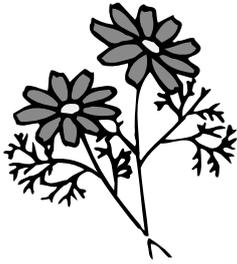
委員会では、「ささゆりルームの使用方法を町民に説明すること」「公平な使用が行われること」「実施後、使い勝手が悪い場合は使用方法等の改善を」などの意見が出されました。

## ■平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第1回）

平成24年度決算の黒字分（1億4,767万円）を繰り入れ、財政調整基金に積み立てると基金残高は、4億1,902万円となる。基金の今後の活用は。

○ 平成24年度の医療費は、高額療養費の増加などで前年度に比べ10・6%伸びた。今後は介護納付金、後期高齢者支援金の増額も見込まれ、ある程度の保有は必要だ。

○ 基金の一部を使い、国保税の均等割・平等割の引き下げを。



○ 保険者を市町村から都道府県へ移行する問題もあり、負担がわからない。この辺を見極めながら検討したい。

○ 当初予算では、財産収入、利子及び配当金は枠取りである。財政法通りの予算計上を。

○ 今後は正していく。

他に、平成25年度後期高齢者医療、介護保険、水道事業の特別会計補正予算について審議し、全議案全委員異議無く可決しました。

## 委員会付託しなかつた議案

▼上牧町議会委員会条例の一部改正

下水道に関する議案は、文教厚生委員会で審議することになりました。

▼北葛城郡公平委員会委員の選任

次の方が原案どおり同意されました。

外川 武彦さん  
上牧町大字上牧

▼第二小学校大規模改修及び耐震補強工事請負契約の変更・追加

追加  
原工事金額  
6億1,082万円  
変更工事金額  
6億2,900万円

追加工事内容  
6億2,900万円

- ・ 交流室1・2 天井張替え
- ・ 床フローリング
- ・ 第一家庭科室・準備室
- ・ 床 塗り床
- ・ 視聴覚室 床・壁・天井張替え
- ・ 第一音楽室・準備室
- ・ 床フローリング

# 平成 25 年 9 月 定例会の議決結果 (平成 25 年 9 月 10 日～9 月 27 日)

議 案 名	議決結果	辻 誠一	長岡 照美	堀内 英樹	康村 昌史	石丸 典子	木内 利雄	東 充洋	吉中 隆昭	芳倉 利次	服部 公英	吉川 米義	富木 つや子
◎平成 24 年度上牧町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません
◎平成 24 年度上牧町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成 24 年度上牧町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成 24 年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成 24 年度上牧町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成 24 年度上牧町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成 24 年度上牧町水道事業会計決算認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎上牧町ささゆりルーム設置条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎上牧町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎上牧町道路線の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成 25 年度上牧町一般会計補正予算（第 2 回）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成 25 年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 回）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成 25 年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 回）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成 25 年度上牧町介護保険特別会計補正予算（第 1 回）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成 25 年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第 1 回）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成 25 年度上牧町下水道事業特別会計補正予算（第 2 回）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成 25 年度上牧町水道事業会計補正予算（第 2 回）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎北葛城郡公平委員会委員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎上牧第二小学校大規模改修及び耐震補強工事に係る請負変更契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎独立行政法人都市再生機構は 2014 年 4 月の継続家賃値上げ、高家賃引き下げを求める意見書（案）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎道州制導入に断固反対する意見書（案）	否 決	●	●	●	●	○	×	○	○	○	●	●	

※議長は採決に加わりません

○賛成      ●反対      一除斥      ×棄権      空白は欠席

# 交通渋滞対策は進んでいるか

—大型商業施設10月に開店—



堀内 英樹



**問** 大型商業施設の開店を控え、上牧交差点（役場前）の改良工事が進んでいないのではないかと。難航で改良工事が遅れていたが、概ね了承が得られた。漸く工事決定に至ったことで、交差点から南に向かって歩道改良工事を発注した。奈良県においても工事に向けた準備が進められており、出来るところから改良工事を進めて行きたい。

**答** 指摘の通り開店時には、周辺道路の渋滞が考えられる。大型施設に対して、出来る限りの対策を申し入れている。施設側もこれを受け入れ、主要交差点に進入路を示す看板設置や警備員の配置により、渋滞対策を実施する。また店舗の近隣には200台程度の臨時駐車場を確保し、警備員（最大134名）も配置するなど、出来る限りの対策を取るとの回答を得ている。



東 充洋

# 信号機設置で安全な通学路の確保を

**問** 6月議会に要望した大型店舗開店に伴う安全な通学路の確保のため、第三小学校正門西側荒木塾交差点と東側県道T字路交差点に信号機の設置についての経過説明を求める。

**答** 一般質問を受け、今中町長は西和警察署長・奈良県警交通規制課長に要望した。

また、各自治会長名の嘆願書も提出したが、荒木塾交差点には、信号機を設置するが県道T字路交差点には信号機は設置できないとの返事があった。

**問** 新町の児童達の通学路は新設された道路交差点を渡るため、どのような経路を計画したのか。

**答** 学校・自治会会長と直ちに検討し、登校時は、東側歩道からケーズデンキ交差点北側横断歩道を西に渡る経路を計画した。

**問** 納得できない。なぜ、第三小学校東側県道に信号機設置ができないのか。

**答** 今後も引き続き、第三小学校東側県道に信号機設置を要望していく。





服部 公英

## 住環境整備も大切な問題

**問** 北上牧地区内住環境整備について、現在の状況は空き地が目立ち、住環境整備の途中で事業が止まった状態です。今年度予算の執行状況について。

**答** 3月の予算については、間違いなく本年度中には行います。自治会と直接会合を持って進めてまいります。

**問** 道路整備事業について、葛下川沿いの痛みが激しく、路面状態が悪く早急に修繕が必要です。今後の予定について、説明してください。

**答** 今後の道路整備事業のなかに含まれています。桜ヶ丘新町線並びに現在開発中の大型店舗から滝

川に抜ける道路など随時できる所から進めて行く計画になっています。

**問** 教育について、週休5日制の影響もここに来て、学力の低下が問題視され、授業時間の不足が盛んに言われています。そこで夏休みに勉強が進むようにエアコンを付けてはどうですか。

**答** 各学校に取り付けますと多額の予算が要するため考えていません。



## 道路はいつ良くなる？



辻 誠一

**問** 25年度4,000万円の予算で道路の現状を調査した。その結果と今後の補修計画をお聞きするが、まず調査方法は。

**答** ひび割れ、わずらわし掘れ量、平坦性の3要素をもって、町内の道路延べ102kmを調査した。

**問** 調査結果は。

**答** 約半分の50kmで修繕が必要、又は修繕が望ましい状態になっている。

**問** 機械で行う調査以外にも、人間の目視も必要である。

**答** 見て回った。(辻)桜ヶ丘地区では、アスファルト粗骨材の露出が顕著で、また膨張性骨材が原因か局所的に路面が盛り上がり、亀裂も多い。転んで擦り傷を

**問** 補修実施計画は。

**答** 調査結果を基に自治会とも相談し、優先順位をつけて実施したい。





康村 昌史

## 上牧町の投票所の見直しについて

H22年参議院とH25年参議院の投票率

投票区	投票率(%)		
	H22参議院	H25参議院	差
南上牧	46.26	38.58	△ 7.68
1 アーバン	51.62	40.82	△ 10.80
松里園	64.81	52.49	△ 12.32
2 北上牧	48.54	40.35	△ 8.19
下牧	69.81	48.02	△ 21.79
3 友が丘	71.00	66.14	△ 4.86
緑ヶ丘	65.60	62.76	△ 2.84
服部台	58.51	50.97	△ 7.55
4 滝川台	61.26	56.36	△ 4.90
ゆりが丘	44.87	44.55	△ 0.33
新町	77.30	55.46	△ 21.84
三軒屋	63.46	47.74	△ 15.72
5 葛城台	60.89	50.84	△ 10.05
五軒屋	73.49	62.96	△ 10.53
米山台	59.10	55.64	△ 3.45
6 金富	69.18	72.79	△ 3.61
梅ヶ丘	64.08	58.16	△ 5.91
桜ヶ丘1	73.31	70.28	△ 3.03
7 桜ヶ丘2	66.57	64.60	△ 1.97
桜ヶ丘3	76.73	70.31	△ 6.43
片岡台1	72.56	60.31	△ 12.25
8 片岡台2	68.46	57.07	△ 11.39
片岡台3	50.14	44.76	△ 5.38
合 計	60.56	53.16	△ 7.40
	15 投票区	8 投票区	

**問** 平成25年7月に参議院選挙が行われた。上牧町の投票所の見直しが行われて、初めての選挙である。その見直しによる投票率の低下を心配していたが、その結果はどうか？

**答** 今回の参議院選挙は、国民の関心が低かった。投票率は、全国平均52・61%、上牧町53・16%。投票所見直し後の最初の選挙であることを考えれば、今回の投票率は想定範囲内である。

(康村) 毎日新聞に掲載された「全国選挙意識調査」によると、投票所まで行く時間が長くなればなるほど、投票に行かなくなる。左の大字別投票率表を見れば明らかである。投票所の見直しは、行財政改革の点から不可欠である。しかし、今回の見直しは、住民への説明・議論があまりにも少なすぎたと思われる。投票所の再見直しが必要である。

## 子ども・子育て支援の充実に「子育てコンシェルジュ」の提案を



長岡 照美

**問** 市町村は「子ども・子育て支援法」に基づき、地域の保育需要をはじめとした様々な子育て支援サービスのニーズを把握し、「子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなっています。急な仕事や病気、兄弟姉妹の学校行事などの際に利用できる「一時預かり」や、「病児保育」などの事業を、国が財政支援を行います。上牧町では待機児童はいないと伺っていますが潜在的な待機児童についての把握を十分にしていたら、大型開発での人口動態などの

状況も踏まえ、認定こども園への移行についても検討していただきたいと考えますがいかがですか。

**答** 潜在的な待機児童については十分に把握をし、認定こども園についても検討をさせていただきます。

(長岡) 生活スタイルが多様化しているなか、個々の保育ニーズに即したきめ細やかなサービスが必要だと思います。多様な子育て支援情報や保育サービスを案内したり、子育て相談に応じたりする役割を担う「子育てコンシェルジュ」の提案をさせていただきます。



木内 利雄

## 全国学力テスト結果 教員の指導力に問題が

- 問** 平成25年4月24日に実施された小学6年生と中学3年生を対象とした全国学力テストの結果が、文部科学省から8月27日に発表された。そこですまは同テスト結果についての総括を伺う。
- 答** 上牧町立小、中学校は全国および奈良県平均と比べて、すべての教科で下回るといふ残念な結果となった。
- 問** 同テストと同時に行ったアンケート調査で、家庭で復習する生徒については、どのような結果となっているのか。
- 答** 復習を行っているという小学生は全国平均67・4%で上牧町は38・4%、中学生は全国平均48・6%で上牧町は26・4%という結果である。
- 問** これまでの答弁を伺って、学校、教員の指導力に問題があると考えますが、非常に残念な結果である。学力を構成する要素は、教員の指導力、本人の意欲、家庭環境などいろいろが重なり合っているが、教員の指導力を高めることがキーポイントであると思っている。学校の取り組み課題は種々あるが学力向上も重要な教育課題だと教員には認識してもらいたい。

## 議会改革の取り組み

### 議会基本条例の制定

25年4月に議会改革の柱として「上牧町議会基本条例」を制定し、目的に「市民との情報の共有」と「協働と参画のまちづくり」を掲げました。

開かれた議会運営を行うことによつて、町民意見の反映を目指すというものです。

### 議会改革としての具体的な取り組み

#### ①議会報告会の実施

10月19日(土)に第2回目の議会報告会を開催し、単に決まったことの報告だけでなく、市民の声を議会審議に反映させることに努めています。

#### ②委員長報告の充実

これまでの形式的な委員長報告に替え、6月議会から委員長が自ら作成し、報告するようになりました。

#### ③議案についての資料の提出

9月議会から町から24年度決算に関する資料が大量に提出されま

した。制度で定められた決算書だけでは、予算に基づいた事業の実施状況が十分に把握できないため、説明資料を活用した審議に努めました。

#### ④傍聴者への議案資料貸出

議会基本条例の規定により、常任委員会と予算・決算特別委員会の傍聴者に会議資料(議案と資料)の貸し出しを行っています。

#### ⑤議会だよりを読みやすく

「議会だより」第85号(25年8月1日発行)から、委員長報告や議案に対する賛否一覧を掲載しています。見やすいレイアウトに変更し、表紙のカラー化などの紙面作りの工夫を行っています。

#### ⑥議会インターネット中継の検討

「議会の見える化」を図るため、議会の本会議並びに委員会のインターネット中継を検討しています。

# 財政問題特別委員会第三次中間報告

## 土地開発公社解散と三セク債の借入れ

財政問題特別委員会は、町が43億円3%の利率で25年間の借り入れ、健全な財政が進められるのか、再度財政破綻することがないのか確認しました。次に公社保有用地が簿価でなく、現状でいくらの価値があるのか評価することを求めました。

### 中長期財政計画について

中長期財政計画は、平成24年度から平成35年度までの12年間にわたるもので、この中には今後予定されている主要事業が網羅されており、赤字財政にならないことを前提にしたものです。以下を確認しました。

- ① 町債残高は平成25年度末において最大146億円となるが、その後は減少する。
- ② 実質公債費比率は平成29年度で最大18.7%となるが、その後は減少し、判断基準の25%を超えない。

- ③ 将来負担比率も、平成25年度に217.7%のピークを迎えるが、以後激減し、判断基準の350%をクリアする。
- ④ ごみ処理に係る事業費は含んでいない。

### 三セク債借入れの最小限化と借入れに伴う一般会計予算

議会は、公社が解散前に1.補償費、測量費等の土地取引経費の処理、2.取引が完了していない土地・建物の処理を確実に、三セク債の借り入れをできる限り少なくし、一般会計に盛り込むようにしてきました。その結果、

- ① 平成24年度末での公社保有用地は、筆数137筆、面積8,554.50㎡で、簿価26億6,726万円
- ② 平成24年度公社決算での特別損失は、1億9,615万円で、その内訳は土地評価損が9,995万円、附帯決議の

処理や鑑定費用等で計上されているものが9,620万円

- ③ これらを受けて、町は三セク債借入予定額43億円を、平成25年度一般会計予算では42億円に変更

### 公社保有用地の資産評価と債権放棄の見込み額

公社は、議会の指摘どおり、保有用地の時価評価を的確に行うべく、公社の「公有用地における時価評価作業の進め方」に従い、平成23年度末公有用地122筆のうち25筆を鑑定し、類似する土地を比準評価する手法で行いました。

- ① 平成24年度末での公社の公有用地は、筆数81筆、面積24,917㎡で、資産評価額は4億2,380万円
- ② 特定土地は、路線価方式及び固定資産税評価額を基に一定の倍率を乗じて評価する方法で行われた。筆数55筆、面積23,065㎡、資産評価額は

は1億6,370万円

- ③ 合計は、136筆、47,982㎡、5億8,750万円。

この結果、債権放棄額は36億1,250万円の見込です。

### 三セク債借入れ手順と金融機関との協議

現在、町は三セク債借入れ許可について、県を通じて国へ申請中であり、早ければ9月下旬～10月上旬に借入許可となることと見込んでいます。金融機関との協議については、取引実績のある金融機関を中心に借入れ手続きを進めていることとしました。

財政問題特別委員会は附帯決議「三セク債の将来負担の重さに鑑み、借入れに伴う金利、繰上げ償還、借換等の融資条件交渉において、最大限の努力を払うこと」に沿って、引き続き町と協議し、追求していきます。

今後、公社の解散処理、公社から引き継いだ用地の的確な管理・活用、および三セク債借入れと返済を含む財政運営が適切に遂行されるよう、議論を深めていきます。

# 全国の町村議会広報研修会に参加



平成25年7月29日（月）～30日（火）の2日間、東京・シエーン・バウハ・サポール（砂防会館別館）で研修会が行われました。全国から600人を超える議会広報編集委員、議会事務局職員が参加し、上牧町議会広報委員も昨年に引き

続き研修を受けました。

1日目は、3名の講師の方々に、わかりやすい文章・見出しなどについて、山田貞雄氏（国立国語研究所）に、広報紙のデザイン・構成などについて、長澤忠徳氏（武蔵野美術大学教授）に、広報写真の撮影方法・表現方法について、川西正幸氏（日本写真家協会会員）にそれぞれ講義いただきました。

2日目は、「議会広報クリニック」が行われ、住民に開かれた読みやすい紙面づくり・分かりやすい記事と見出しの付け方等について、芳野政明氏（広報・編集コンサルタント）の講義を受けました。この研修を今後の議会だよりの編集に活かして参ります。

# 議会日誌

27日	26日	25日	17日	13日	12日	11日	10日	6日	4日	3日	(9月)	28日	26日	21日	19日	2日	1日	(8月)	24日	22日	17日	12日	10日	8日	5日	4日	3日	1日	(7月)	
全員協議会	広報委員会	第3回定例会（最終日）	財政問題特別委員会（第29回）	一般質問（4名）	財政問題特別委員会（第28回）	議会運営委員会	第3回定例会（初日）	総務建設委員会	文教厚生委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	一般質問（3名）	財政問題特別委員会（第27回）	西和消防組合議会	葛城地区清掃事務組合議会子ども議会	議会改革検討委員会（第3回）	議員人権研修会	財政問題特別委員会（第26回）	王寺周辺広域市町村圏議長会	差別をなくす町民集会	広報委員会	監査委員研修会	広報委員会	正副議長研修会	第2回臨時会	議会運営委員会	広陵町議会議員研修会	災害に強いまちづくり特別委員会（第6回）	広報委員会	財政問題特別委員会（第25回）

# 編集後記

議会基本条例を施行に移す一つとして、各委員会での審議内容を委員長が自ら報告することになりました。

報告をまとめるうえで苦勞もあり、また報告時間が一時間を超えるものもありました。これからも試行錯誤を繰り返しながら、改善して行きたいものです。

0745-76-11001  
0745-76-11003  
FAX

- 広報委員会
- 委員長 長岡 照美
  - 副委員長 康村 昌史
  - 委員 辻 誠一
  - 委員 堀内 英樹
  - 委員 石丸 典子
  - 委員 服部 公英

# 次回の定例会は 12月4日開催予定

- ・第4回上牧町議会定例会  
平成25年12月4日（水）  
午前10時から
- ・議会運営委員会  
平成25年12月2日（月）  
午前10時から